



たつみっこのための

# すたなび

NO. 53 辰美小学校

## ○冬休みの過ごし方を考えよう

校区探検（丸山地区）や陸上競技大会、そして学習発表会、充実の2学期も終わります。冬休みは、ご家庭での生活が中心となります。各学年では、学習・生活・お手伝いなど、子どもたちが自分で考えた冬休みの計画を立てています。

3学期も子どもたちが意欲的に学習に取り組めるよう、「早寝・早起き・家庭学習」の習慣を継続し、しっかりとした生活ができるように言葉かけをよろしくお願いします。



(早寝)



(早起き)



(家庭学習)

## ○こんな人はいませんか…（今までの自分の生活を振り返ってみよう）

- ・冬休みの宿題は、1月に入ってからしよう…。
- ・明日学校休みだから、夜ふかししよう…。
- ・お昼まで寝よう…。
- ・外は寒いし、暖かい部屋でごろごろしよう…。

# 要 意 !!!

こんな生活をしていて本当に大丈夫でしょうか！？3学期に入り、朝が起きられないでは話になりません。冬休みを有意義に過ごすためにも、計画を立てて学習に取り組み、生活のリズムを崩さないようにしましょう。

## ○心ゆたかな冬休みに！

子どもたちと一緒に年末年始の準備をしながら、日本の伝統文化について実践したり、楽しく語り合ったりしてみたいはかがでしょうか。

冬休みが子どもたちの生活をより確かにさせ、心を豊かにしてくれることを心から願っています。



# 日本の伝統文化に親しもう

## ○書き初め

書き初めは、年が明けて初めて毛筆で書や絵をかく行事で通常は1月2日に行われます。吉書（きっしょ）、試筆（しひつ）、初硯（はつすすり）ともいわれ、もともとは宮中でおこなわれていた儀式でしたが、江戸時代以降庶民にも広まりました。辰美小学校では、1月8日始業式の後、校内書き初め大会をします。新年を迎え、心を新たにして書き初めをすることにより、文字を大切に丁寧に書こうという意欲を高め、日本の伝統文化を継承するねらいで開催します。冬休みにもお家で練習しておきましょう。

1年	お正月	2年	新しい年	3年	生きる力
4年	元気な子	5年	美しい心	6年	希望の朝



## ○かるた

かるたは、カードを使った主に正月に遊ぶ室内遊具です。その名称はポルトガル語で「手紙」(Carta)、あるいは、紙板状のもの、トランプなどを意味するCartaに由来しています。語源は、ポルトガル語ですが同様の遊戯は日本とポルトガルとの接触前からあったものと考えられています。元々は、平安時代の2枚貝の貝殻を合わせる遊び「貝合わせ」であってこれとヨーロッパ由来のカードゲームが融合し、元禄時代頃に今日の遊び方となったそうです。日本のかるたは、16世紀末頃、筑後国三池（現在の福岡県大牟田市）で作り始められたと言われています。いろは47文字に対応した「いろはかるた」が最も古典的で有名ですが、地方の伝統や名物を読みこんだかるたもあります。似たものに、百人一首もあります。ご家庭で楽しくされてはいかがでしょうか。



